

職家デナイト同時ニ幾万ノ大爭議ヲ指導シ解決シ得ル實際家必ズ
シモ懸河ノ雄弁ヲ爲ス能ハザルモノアルノデアリマス、組合ノ向
上發展ノ途上ニ於テハ兩々相俟ツテ其ノ特徵ヲ發揮シテケレバナ
ラナイモノデアツテ其間ニ一點ノ相反目ガアツテハナリマセン、
同志相反目シテ互ニ排擠スル事ハ組合ノ發展ヲ阻害スルバカリデ
ナクオ互同志自身ノ損失デアル、オ互ニ濫カキ同志愛ニ依リテコ
ノ難局ヲ闢ヒ拔カレン事ヲ私ハ切ニ希望スルモノデアリマス、又
不衛生極マル工場或ハ地下何千尺ノ坑内ニ働ク者ト雖モ同志デア
ル以上ソレ等ノ人々ヲ尊敬スルト共エソノ人々等ノ闘争意識ノ昂
揚ニ努メ決シテ之ヲ度外視シテハナラナイ、組合發展ノ要諦ハ職
場大衆ヲ尊重シ指導スル事ニアルト信ズルモノデアル。

更ニ私ノ第三ノ希望ハ此ノ困苦ノ時期ニ際シテ我々ノ運動ノ役割
ガ大衆化サレナケレバナラヌコトデアル、私ハ同志ト共ニ一昨
日神戸ノ街頭ヲ三宮驛ヨリ會場迄練リ歩イタノデアルガ其時神戸

ノ労働者大衆ト切離サレテ居ルナラバ何等ノ意義モナイ如何ナル
彈壓ガアロートモ官憲ノ返ガアロートモ我々ノ歩クトキニハ五十
万、百万ノ大衆ガ吾々ヲ支持シテ居ルノダト言フ勢ト熱意ヲ常ニ
持テ續ケル處ノ運動デナオツタラ斷ジテ非常時ヲ切抜ケル事ハ出
來ヌト斷言シタイ。

然シ稍々モスレバ少數ノ二義的ナ運動ニ墮スル怖レガアル。職場
大衆ガ組合ニハ直接加入セズトモ全情的態度ヲ持ツ様ニナラナケ
レバ非常時局ノ労働組合ハ斷ジテ發展スル事ハ出來ナイト思フ
諸君ハ大正十二、二年ノ關東大震災前ニ於ケルサンヂカリズム的
ナ小數尖銳的ノ行動ヲ考ヘテハナラヌ、労働組合ノ本質ハ何デア
ルカ此ノ非常時ニ處スル労働組合トシテ新シキ方針ガアリ對策戰
術ハ何デアルカ考ヘ新シキ道路ヲ開拓セネバナラヌ、私ハ先程
述べた様ニ健康意ノ如クナラザルモ諸君ニ對シ深ク期待スルモノ
デアル、私ハ例令途中チ倒レテモコノ一年間ハコノ大責任ヲ盡シ